

令和8年度 亀山まちづくり協議会 事業計画書

1 今年度の目標

・ ホームページを再構築し、地域団体の活動や各種イベントを情報発信する。
・ 昨年度に引き続き、課題解決のために3事業を実施する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	亀山学区の安心安全なまちづくり	(3)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山公民館等	
(3) 参加者数	100 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 亀山まちづくり協議会	
4 取組内容	亀山地域での安心安全なまちづくりについて亀山地区社会福祉協議会50周年記念事業に係る『まちづくり講演会等』を計画して、構成団体等との連携により、亀山全域からの参加が得られるようにして各町内会・自治会や各団体への参加促進の醸成を図り、今後の構成団体の運営に役立ててもらおう。 引き続いて防災や子どもの見守りを一層充実させるために必要な物品等の点検を行ってもらい、必要な物があれば、協議会で予算の範囲以内で整備していく。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 安心安全なまちづくりのためには、多くの住民に参画してもらい地域ごとの課題等について相互理解と防災・減災意識の向上や子どもの見守り活動を継続していく必要がある。そのために『まちづくり講演会等』を企画して共通認識の醸成を図る。また、防災や子どもの見守りを一層充実させるために必要な物品等の点検を行ってもらい、必要な物があれば補充する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 防災・減災意識の向上や子どもの見守り活動を継続していくために『まちづくり講演会等』を企画して亀山学区の安心安全なまちづくり共通認識の醸成を図ることで近隣地域の協力体制の連携が見込まれる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	各構成団体のイベントなどを通じた活性化の支援	(3)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山地区内（かめやままちづくり協議会活動拠点、各種イベント会場等）	
(3) 参加者数	延べ300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>かめやままちづくり協議会</u>	
4 取組内容	かめやままちづくり協議会の構成団体（連携団体）が主催する各種イベント等について共催することにより、チラシの作成や広報・周知を支援し、亀山地区全体の活性化と交流を促進させる。構成団体（連携団体）からの要請に基づいてチラシの作成や・ホームページなどへの掲載を通じた広報などを担っていく。 子育て支援への取り組みが地域の課題でもあり、そうした取り組みへの支援も行う。 また、必要に応じて、各種イベント等で活用する備品等を購入し、構成団体（連携団体）が主催する各種イベント等への貸出を行うことで構成団体の魅力の向上を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 亀山地域の伝統芸能・文化を支援することも含めて、かめやまエルモに参加している各団体で実施するイベントなどについて、チラシの作成支援、印刷などをすることで、住みやすい街づくりに貢献するとともに、イベントの円滑な実施が期待できる。また、ホームページ等で広報することで互いに共有でき広く情報発信もできる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 各団体では所有することできないような共用備品の整備（綿菓子機・かき氷）することで、各団体に適宜貸し出して、地域イベントの活性化と盛り上がりを支援できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域住民のニーズ調査基本方針の策定	(3)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年 4月 1日 ~ 令和9年 3月 31日	
(2) 実施場所	亀山地区内	
(3) 参加者数	30 人(見込み) 大学、行政、社協等、構成団体等	
(4) 主催団体	団体名 かもやままちづくり協議会	
4 取組内容	亀山地区のニーズについて、広島大学との連携協定により2年計画で実施をすることとして7年度は行政機関等へのインタビューを済ませ、今年度は構成団体へのインタビューをして、内容の分析や住民アンケートに向けた設計等を行い、可能であればアンケートを実施する。 その報告会も実施を計画し、今後のかめやままちづくり協議会の運営に反映させていく必要がある。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 今後のかめやまエルモの長期的な課題解決のためにも地区のニーズについて、把握していく必要がある。そのためには行政機関等が把握している亀山地区の情報や各団体の実情について、聞き取り等を通じて把握した上で調査したい内容を模索する。行政や区の社会福祉協議会、包括、大学等の参画を得て十分な協議の場を設けていく。その中で出てきたことを基本方針としてニーズ調査の具体的内容を考えていく。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 亀山地区の地域ごとのニーズの把握や今後のエルモが取り組むべき地域課題について、その解決に向けた方向性を明確にすること。また、限られた資源を有効に活用しながら課題解決が図れるようになる。	

3 自主財源で実施する事業

特になし